

一般質問

・持続可能なまちづくりのための
協働の推進について



齋藤佳子

問 協働の重要性についての全般的な見解は

答 地域における課題等が多様化・複雑化している中、財政的・人力的にも、行政が全ての課題に取り組むことは難しくなっています。そのため、市民やNPO、企業や行政などが、協力して取り組むことが重要です。

問 対話によるまちづくりについては

答 地域の課題の解決に向けて協働を推進するには、対話が重要です。タウンミーティングなどで、市民と行政がお互いを理解し、対等な立場でのまちづくりを進めてまいります。

問 協働の担い手の育成については

答 中・高校生に社会貢献活動を体験してもらう事業を昨年度から実施しており、参加した生徒が、事業終了後も継続して活動に参加するなど、良い効果も出ています。若い世代が、

将来、地域で活躍し、協働の担い手となってもらえるような機会の提供に努めていきます。

問 中間支援や、協働の指針策定など今後の進め方について

答 地域で活動をする人たちを支援し、行政とのパイプ役を担う中間支援のしくみは大切です。また、まちづくりの方向性を明らかにし、市民一人ひとりが、まちづくりに関わりを持ち、目指すまちの姿を共有できる「協働の指針」の策定に向けて調査、研究を進めていきます。



中高生NPO体験プログラム
社会貢献活動を身近に体験してみませんか！

参加費 無料

対象 津島市の在住・在学の中学生・高校生

定員 各10人 ※2校同時参加できる方や初めて参加する方を優先します。

申し込み 津島市役所 企画政策課 協働推進室 (TEL: 0537-85-1161)

申込方法: Eメール・申込コードから申込みください。申込書は裏面に記載のとおり郵送・電話・来庁でも受付いたします。

主催 津島市役所 企画政策課 NPO推進室 協働推進室 後援: NPO法人日本お茶会連盟 協賛: NPO法人アトリエ・ムクダ

中高生NPO体験プログラムの様子

一般質問

・産廃問題について



鈴木克己

問 2月3日の知事広聴「平太さんと語ろう」で、川勝知事は、御前崎市の産廃問題について次のように語っています。「御前崎市の産廃誘致については、全体の同意を得ることなく、財産区全体の意見として大栄環境(株)と話が進められた。しかし、住民投票で9割の人が反対し、そうではないことが分かった。市長はそれを受けて、産廃撤退を市政の根本に据えてしっかりと対応している。市長は自ら印を押したにも拘わらず、間違いを認めて、市の方針を明確に産廃撤退として大栄環境(株)と交渉している。」また、市長は大栄環境(株)と一度も会うことなく、誘致推進者から「財産区管理会は全員が賛成している」と事前には伝えられたことから押印し、財産区管理会も正式に同意した事実はありませんと伺っております。そのような状況の中、市税を使って契約は有効だと裁判で主張している。メンツにとらわれることなく市民目線で考えていただきたい

い。今後の対応について伺います

答 住民投票の結果を重く受け止め、行動しています。県知事の発言にもありますように、大栄環境(株)そのものが悪いのではなく、民意の合意形成がなされなかったことが悪かったと仰っています。また、県知事からは、民意を踏まえた私の姿勢も支援していただいています。2月16日に金子社長と話し合いの場を持ちました。内容については、交渉途中でありますので、答えは差し控えます。

津島市役所 企画政策課 協働推進室 (TEL: 0537-85-1161)

